

令和5年7月5日（水）実施 3年次生福祉類型

「音楽療法講座」

一般社団法人日本音楽療学会代議員 音楽療法士 粥川由美先生をお招きし、福祉類型の生徒（3年次生）が音楽療法講座を受講しました。「音楽」には心や体、社会、空間に及ぼすさまざまな「力」があることを、実践を通して学びました。

【トーンチャイムで指示された順番に音を鳴らそう！】



トーンチャイム

手首を使って音を鳴らします。

【おもちゃの楽器で「かえるのうたの」合奏】

チキンのおもちゃの楽器

握力を使います。「押す」と「放す」ので音が違うよ！



【いろいろな楽器を使って全員で合奏】



どうすると良い音がでるのかな？

<感想>

- 音楽には元気になったり、落ち着かせたり、人を変える力もあり、人と人とをつなぐこともできる。音楽の力はすごい！と改めて感じました。
- 音楽を流しながら手を叩いたり、足踏みしたり、順番にハンドベルを鳴らしたり。いろいろな楽器に触れてみて、認知症予防になると思いました。
- 年齢に応じて知っている曲、好きな曲がそれぞれ違うので、相手に合った好みの曲や歌を選ぶことも大切だと思いました。音楽療法の時間中、終始笑いっぱなしで楽しかったです。音楽はこんなにも人を笑顔にできるんだと実感することができました。